

給食だより

令和元年 5 月

舞鶴市立余内小学校

マナーを身につけるのは日々の食卓から

食事のマナーを身につける場所として、学校給食もありますが、生活の大半を占めているのは、やはり家庭での食卓です。

毎食は無理でもできるだけ回数多く一緒に食べられるといいですね。

マナーは、毎日の食事の中で少しずつ繰り返し教えることが大切です。

また、理由を教えることも大切なことです。「みっともないから、恥ずかしいから」というだけでは子どもたちも納得しません。一緒に食事をする人どうしがお互いに気持ちよく食べるための心づかいであることを年齢に合わせて説明しましょう。



マナー違反に要注意!



次のようなことをしている人はいませんか？
自分やまわりの人とチェックしてみましょう。

口に食べ物が入った
ままおしゃべりする



がちゃがちゃと
食器の音を立てる



ひじをついて食べる



まわりの人とふざける



食事中に席を立つ



食事中にふさわしく
ない話をする



「今日の給食、なにー?」、「わあ、おいしそう」授業が終わって、すこし表情が和らいだ様子の子どもたち。給食室へ入ってくると、まずは、今日の給食展示物をチェックです。

だれだって好きなメニューもあれば、苦手なメニューもあります。児童会が掲げた「目標を達成するために」の言葉の中に苦手なものでも挑戦しようとしています。自分の中で、絶対無理と決めつけず、学級のみんなと一緒に食べながら、食事中的会話や雰囲気でも一口食べてみようかな、という気持ちが芽生えるよう、給食室からも楽しい給食づくりを心がけたいと思います。

～子どもたちの様子を紹介します～



▲「2列にならびましょう。」前の人に続いてならべているかな？



▲「重たいな。」と言いつつ、ペアで声をかけながら、一步一步教室へ向かいます。



▲「食べたら、おいしかった。」給食では様々な料理が登場します。



▲それぞれに給食当番の仕事を手際よくすすめます。「これ、少ないで。」「こぼれてるよ。」周りのみんなからチェックの声が入ります。



▲学年が上がると食べる量も増えます。食べ残しも少ないです。



2年生でえんどう豆のさやむきをしたよ。



5月14日、1時間目実施

現代は多くの野菜や果物が年中市場に出回っており、旬や季節感を身近に感じる事ができにくくなっています。給食の中で旬を感じ、味わうことで子どもたちの感性に豊かさが広がることを願っています。



見て！豆が8こも入っていたよ！

保育園のときにしたことあるでー。



みんなの豆がいっぱいになった。



おいしい豆ごはんを作ってください。

できあがった豆ごはんを食べた2年生。担任の先生の「前より豆ごはんが好きになった人？」という問いかけに「はい。」とたくさん手があがりました。他学年に比べて、食べ残しも少なかったです。私が「おいしかったよ。また、食べたいな。」と言うと、「心をこめてしたからやで。」「もう一回、むいたるか？」など心がぼかぼかする返事がありました。

豆ごはんが苦手な子どももたくさんいます。でも、いつも食べているグリーンピースとの味の違いが分かる人もたくさんいました。あらためて、子どもたちの舌の味覚の繊細さにおどろきました。